

令和8年度
運営に関する計画



大阪市立大隅東小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 校区は旧来居住の地域と新たに田畑を開発した新興集合住宅が多数を占める地域である。生活指導上配慮を要する背景をもった家庭の割合が近年増加傾向にある。安定した子どもの日常生活の確保、生活習慣にも課題があるため、家庭・地域・関係諸機関との連携を充実させ、教育活動に取り組む必要がある。
- 不登校傾向の児童の割合が近年増加傾向にあるため、保護者や関係諸機関と定期的に連携した取り組みが必要である。
- 学習面については、「教科を学ぶことは好きだ」「授業の内容はよくわかる」といった子どもたちの肯定的な意見は増えつつあるが、一方で小学校学力経年調査の正答率とは必ずしも連動していない。指導者と子どもが学習内容の習得状況を一緒に確認しながら、誰一人取り残さない実質的な学力向上を目指す必要がある。

中期目標**1【安全・安心な教育の推進】****①安心・安全な教育環境の充実**

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和11年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

②豊かな心の育成

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 令和11年度の大阪市学力経年調査における「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

2【未来を切り拓く学力・体力の向上】**④誰一人取り残さない学力の向上**

- 令和11年度の小学校学力経年調査における、算数のボリュームゾーンにあたる層の変化率を前年度より2ポイント向上させる。

⑤健やかな体の育成

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」)が大切だと思う。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上とする。

3【学びを支える教育環境の充実】**⑥教育DXの推進**

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して週3回以上と回答する児童の割合を95%以上にする。

⑦人材の確保・育成としなやかな組織づくり

- 令和11年度の「学校園における働き方改革アクションプラン」に掲げる時間外勤務時間基準1(1か月の時間外勤務時間が45時間を超えない)を満たす教員の割合を100%にする。

⑧生涯学習の支援

- 令和11年度の小学校学力経年調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。

⑨家庭・地域等の連携・協同した教育の推進

- 学年や学校全体での地域の人材や社会教育施設等を活用した学習の実施割合を100%にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

1 【安全・安心な教育の推進】

①安心・安全な教育環境の充実

- 令和8年度の小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- 令和8年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

②豊かな心の育成

- 令和8年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- 令和8年度の大阪市学力経年調査における「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

2 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

④誰一人取り残さない学力の向上

- 令和8年度の小学校学力経年調査における、算数のボリュームゾーンにあたる層の変化率を前年度より2ポイント向上させる。

⑤健やかな体の育成

- 令和8年度の小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上とする。

3 【学びを支える教育環境の充実】

⑥教育DXの推進

- 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して週3回以上と回答する児童の割合を85%以上にする。

⑦人材の確保・育成としなやかな組織づくり

- 教員の時間外勤務時間基準1の割合を70%にする。

⑧生涯学習の支援

- 小学校学力経年調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を60%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。</p> <p>○令和8年度の大阪市学力経年調査における「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、肯定的に回答する児童の割合80%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○「心の天気」やコメント欄を通じたきめ細かな状況把握と、日常の何気ない善行への肯定的な声かけを積み重ねることで信頼関係を築く。また、相談申告機能の使い方を周知させると共に、相談の際、最後に必ず「話してくれてありがとう」と伝えることで、どんな小さな不安も安心して打ち明けることができる心理的安全性の高い学級、学校作りを実現していく。</p> <p>指標</p> <p>○令和8年度の学校アンケートにおける「困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。</p>	
<p>取組内容② 【 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○学習面、生活面の両面から子どもたちをよくみて指導し、学校行事や委員会活動、たてわり班活動を通して、一人ひとりが達成感を感じられるように努める。不登校傾向にある児童については、その原因を取り除くように家庭と学校、生活指導支援員や関係諸機関等とも連携をとり、原因解決に努める。</p> <p>指標</p> <p>○令和8年度の学校アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容③ 【 2 豊かな心の育成】</p> <p>○子どもが互いのよさを認め合える集団作りをし、指導者がほめることで、子どもの自尊感情が高まっていくように支援していく。</p> <p>指標</p> <p>○令和8年度の学校アンケートにおける「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。</p>	
<p>取組内容④ 【 2 豊かな心の育成】</p> <p>○日々の係活動や当番活動、委員会活動等を通じて他者への貢献意欲を育む。また芸術鑑賞会や出前授業、社会科見学などで本物に触れる機会を多く設けたり、多様な生き方に触れさせる</p>	

ことで自分の適性や将来の役割を具体的に描く力を養っていく。

指標

○令和8年度の学校アンケートにおける「日々の係や当番活動、道徳の学習等を通して、大きくなったらこんなふうになりたいとか、そうなるためには今、何をすべきか考えることができた」という項目に対して、肯定的に回答する児童の割合80%以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における、算数のボリュームゾーンにあたる層の変化率を前年度より2ポイント向上させる。</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」)が大切だと思う。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上とする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○学習の基礎・基本の定着を図るために、国算サポーターによる授業の入り込みや、算数科の習熟度別少人数学習など、児童の実態に合わせた学習形態を充実させ、計画的に実施する。</p> <p>○毎週水曜日と木曜日の朝学習の時間に、基礎的な計算問題のプリントや、学習者用端末で算数ドリル学習に取り組ませることで学習の定着を図る。</p>	
<p>指標</p> <p>○学校アンケートにおける「算数の授業の内容はよく分かる」の設問に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○様々な教科・活動において、言語活動の充実を図るために、ペア交流・グループ交流・全体交流の場を設定し、話型を掲示するなどして話し合う方法を身につけさせ、交流活動を取り入れるようにする。</p>	
<p>指標</p> <p>○学校アンケートで「学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の設問に対して、肯定的な回答をする児童の割合を70%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【5 健やかな体の育成】</p> <p>○年3回の歯と口の健康に関する保健強調週間を設定し、児童の生活習慣の向上を図る。</p>	
<p>指標</p> <p>○学校アンケート「朝と夜にしていねいに歯をみがいていますか。」の設問に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上とする。</p>	
<p>取組内容④【5 健やかな体の育成】</p> <p>○年3回の給食強調週間(学校給食週間を含む)、各学年年2回の栄養指導を実施する。毎日の給食においては、必要な量を担任と調整し、残さず食べられるよう促す。</p>	
<p>指標</p> <p>○学校アンケート「自分で食べる量を調整し、給食を残さずに食べられましたか。」の設問に対して肯定的に加糖する児童の割合を85%以上にする。</p>	

<p>取組内容⑤【5 健やかな体の育成】</p> <p>○達成感を感じられるようにスモールステップを設定したり、遊びの要素を取り入れたりしながら、授業改善を行い、生涯に渡って、体を動かすことやスポーツをすることの素地を養う。</p>	
<p>指標</p> <p>○学校アンケートにおける「体育の授業で自分なりのめあてを決めて、取り組めましたか。」の設問に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して週3回以上と回答する児童の割合を85%以上にする。</p> <p>○「学校園における働き方改革アクションプラン」に掲げる時間外勤務時間基準Ⅰ(1か月の時間外勤務時間が45時間を超えない)を満たす教員の割合を70%にする。</p> <p>○小学校学力経年調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を60%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【6 教育DXの推進】</p> <p>○心の天気の入力する時間を決めて習慣化したり、連絡帳を書く際に学習者用端末を活用したりする。</p> <p>○イベント(タイピング大会など)に向けて、大会のある週は休み時間に端末を使ってもいい強調習慣を設けたり、家庭で活用させたりする。</p>	
<p>指標</p> <p>○小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して週3回以上と回答する児童の割合を85%以上にする。</p>	
<p>取組内容② 【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>○会議を精選し、ゆとりの日を週1回設定し、週1回は定時に退勤できるようにする。また、行事予定表やスケジュールボードに、必ずゆとりの日を明記し、教職員の働き方改革への意識を向上させる。</p>	
<p>指標</p> <p>○「学校園における働き方改革アクションプラン」に掲げる時間外勤務時間基準Ⅰ(1か月の時間外勤務時間が45時間を超えない)を満たす教員の割合を70%にする。</p>	
<p>取組内容③ 【8 生涯学習の支援】</p> <p>○職員室前におすすめの本コーナーを設置し、2週間に1回更新したり、学期に1回図書委員会による本の紹介を行ったりする。</p> <p>○学級文庫の入れ替えを学期に1回行ったり、図書委員会のイベントを行ったりして、本に興味をもつことができるようにする。</p>	
<p>指標</p> <p>○学力経年調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を60%以上にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点